

令和6年度岩手県立花泉高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和7年2月17日（月）15：40～17：00

会場：会議室

出席者：

協議会委員・学校運営協議会副会長 佐々木 俊郎（花泉ロータリークラブ会員）

協議会委員 千葉 仁（花泉中央振興商店街協同組合理事長）

協議会委員 佐藤 千恵子（本校同窓会長）

協議会委員 佐藤 拓史（花泉中学校長）

協議会委員 小野寺 伸（老松市民センター所長）

校長、副校長、事務長、教務主任、進路指導主事、保健主事、総務主任代理兼記録

次第

1 開会のことば

2 校長あいさつ

〔校長〕

高校入試の志願者が41名と定員を超える状況である。制服の変更もあるが、生徒へ寄り添った指導体制があり、中学校の時に不登校だった生徒も来られるようになった、といった実績が伝わっているのではないかと考える。今年度の学校運営については文化祭、修学旅行、花プロ（花高魅力化プロジェクト）等、計画通り行うことができた。また、ボランティア活動にも積極的に取り組み、地域との交流も充実していた。次年度に向けて委員の皆さんから様々な意見を頂きたい。

3 協議 令和6年度花泉高等学校の学校運営・活動報告について

（1）令和6年度学校概況説明・学校評価結果

〔副校長〕

今年度の在籍移動は2名。身だしなみは概ね良好で、学習面では家庭学習時間は少ないものの授業態度は良好で個別指導を行いやすい環境である。1年生において2科目で遠隔授業を実施し、小規模校ではあるが学習の質と機会を保障し、教育効果が現れている。ボランティア活動の取り組みも活発で、地域の活動に積極的に参加している生徒もいる。花プロも5年目となったが、地域の方がたに協力いただき、更に充実した内容となった。

学校評価アンケート結果では多くの項目で掲げた指標を達成している。

〔進行〕

質問、というか面白いと思ったのが、「本校のPTA活動は活発に行われていると思いますか」の項目で、保護者と教職員では差が大きい点。保護者は90.2%がそうだ、と思っているが教職員は67.0%である。

〔副校長〕

本校は小規模校のためPTA活動の回数はそれほど多くないが、あいさつ運動や文化祭など各活動への参加率は比較的高い。保護者は参加率、教職員は回数により着目して評価したのではないかと。また、学校評

価の質問項目によるもので、保護者にとって「そう思わない」の回答は選びにくいのかも知れない。

(2) 令和6年度各課活動報告

総務課活動報告

〔総務主任代理〕

〔保護者と連携した PTA 活動の充実〕

あいさつ運動、環境整備活動等に多くの保護者に参加いただいた。1月下旬に PTA 講演会を開催した。PTA 広報を2回発行し、順調に活動できた。

〔花高魅力化プロジェクトによる地域理解の促進〕

評価指標「地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい」の結果は 61.9%となり、目標をわずかに下回った。活動自体は計画通り進行し、12月20日に発表会を行った。小規模校でスタッフが限られる、時間数が十分でないなど課題もある。次年度の活動内容について花プロ検討委員会にて検討し、改善を図る。

〔積極的な情報発信と同窓会や外部機関との連携〕

マチコミというアプリを使って学年通信の配信に取り組んだ。PTA と同窓会から寄付をいただき、多目的ホールの音響設備を整備することができた。

〔防災教育・危機管理の遂行〕

危機管理マニュアルの更新が年度後半になったため、次年度は年度始めの段階で必要な更新を行う。

教務課活動報告

〔教務主任〕

〔主体的な学習姿勢の確立と家庭学習の内容の充実〕

評価指標「授業で分からない事について自分から質問したり、分かる人に聞きに行ったりする」の結果は 78.6%となり、目標を達成した。コロナ禍が収束し、協働学習が活発にできるようになったためと考える。課題である家庭学習時間については昨年と比較し、考査前の学習時間は増加している。今後は毎日の学習時間を増やすことに取り組む。

〔ICT を活用した教育環境の充実〕

BYOD に対応した授業に取り組んでおり、多くの授業でタブレットを活用している。次年度は学習アプリの導入を予定している。

〔その他〕

校内の Wi-fi 環境が一部不良の箇所があるので、改善したい。

〔進行〕

生徒の使用する端末の状況、アプリの導入についての質問

〔教務主任〕

今年度から1年生は自分で購入したものを持参することとなり、2、3年生は学校から貸与したものを使うという状況であった。学習アプリの使用料は保護者負担。例年、年度始めには設定等で時間はかかるが、回数を重ねると操作にも慣れてスムーズに使用できるようになる。

生徒指導課活動報告

〔保健主事〕

〔心身共に健康でたくましい生徒の育成〕

花高祭での課題をふまえ改善を図る。小規模校のため、複数の係・担当を持つ生徒が多く、係の仕事と重複して他の企画に参加できない場合があったため、次年度は一般公開日の前日午後に校内発表を行う計画である。

〔情報モラル教育を通じた規範意識の醸成と情報活用能力の育成〕

情報モラル教育に取り組んでいるが実際に SNS トラブルはある。スマートフォンは保護者が買い与えているものであり、学校で生徒に対して指導するだけでは不十分で、保護者に対しても働きかけをしていきたい。他校では入学説明会で保護者も同席した場で情報モラル教育をしているケースもあると聞く。

進路指導課活動報告

〔進路指導主事〕

〔面談等による生徒理解に基づいた丁寧な進路指導の推進〕

評価指標「能力や適性を踏まえた進路指導を行っている」の結果は 97.6% となり、目標を達成した。様々な進路行事の企画と担任を中心としたこまめな面談によるものとする。ただし、進路行事はやや多いと思うので、精選に努める。

〔進路状況について〕

未定（3 名）について。1 名は複数の合格を得ているため、どの学校に進学するか検討している段階。1 名は専門学校を先日受験し、結果待ち。1 名は療育手帳を利用した就職希望の生徒。企業とのマッチングがうまくいかず、就労体験は何度か受け入れていただいているが 1 社目の受験に至らない。手帳を利用した就職活動は大変厳しく、早い段階で関係各所、企業との連携の必要性を感じている。

〔委員〕

手帳を利用した就職活動について。いつ頃意思決定したのか。

〔進路指導主事〕

該当生徒については 2 年生の終わりから 3 年生に進級する時期。3 月下旬に社協、ハローワーク、ジョブカフェと担当教員でミーティングを持ち、療育手帳を取得するケースに該当するのではないか、との判断。一般就労か手帳を利用した就職か親と本人で考えてもらい、4 月に手帳利用の希望を聞き、そこから手帳取得に向けて関連する手続きを行った。

〔委員〕

中学校での特別支援学級の設置数、在籍生徒数は増加傾向にある。今後、特別な配慮の必要な生徒が普通高校に入学するケースは増えるだろう。そういった生徒もスムーズに進路が決まればいいな、と思う。

（3）令和 7 年度学校経営計画（案）について

〔校長〕

主な変更点は 2 点。

- ・ 4 目指す学校像（1）今年度の重点目標（イ）について

令和 6 年度重点目標：心身共に健康でたくましい生徒の育成、達成指標：生徒会活動・部活動が活発に行

われている〔90%以上〕

令和7年度重点目標：(イ) 豊かな人間性と社会性を身につけた生徒の育成、達成指標：非行など問題行動の防止に努めている〔90%以上〕

(説明)

令和6年度の達成指標の表現が具体的すぎるため。また、学校評価アンケートの「非行など問題行動の防止に努めている」の評価がわずかだが低下しており、規範意識が変わってきているのではと危惧しているため。

・4目指す学校像(2) 取り組み方針(オ) 地域貢献活動の推進と外部機関との連携(ウ) 創立80周年にむけた準備(令和9年に向けて)

(説明)

令和7年度に準備委員会を立ち上げ、令和9年の80周年にむけて準備を始めたい。

〔進行〕

令和7年度の学校運営基本方針について委員より質問、意見をいただきたい。

〔委員〕

80周年に向けて同窓会でも話は出ている。講演会等企画したい。

〔委員〕

今回の高校入試については、花泉中学校から例年より多くの生徒が志願している。花泉高校の在校生から「花泉高校に入ると勉強が出来るようになる」、と中学生が聞いているようだ。「花高マジック」と呼んでいる。毎日の授業で丁寧に指導し、積み重ねがうまくいっている成果だと感じる。

〔委員〕

高校と中学校の交流がもっとあるとよい。部活動、スポーツを通して生徒間のつながりができる、ということもあると思う。

〔校長〕

小学校、中学校との交流ができるとよい、と考えている。

〔委員〕

新たなこと企画し取り組むことはなかなか難しい。今やっていることにプラスする、という発想ではどうか。高校で取り組んでいる花プロの地域課題発表会は良い取り組みなのだが、発表会の参観者が協力者や学校運営協議会委委員の限られた大人である点が残念。小学生や中学生も知るべき内容だと思う。発表会を見に来る機会を作れないか。

〔進行〕

新聞等メディアに取り上げられることでPR効果も高まる。今回の志願者が41名と報道で知った、大変な驚きを持って受け止めた。これまでの取り組みの成果と思うので、自信を持って次年度に向かってほしい。

校長から提案のあった令和7年度岩手県立花泉高等学校学校経営計画(案)について承認される方は拍手をもって承認してください。

(拍手をもって承認される)

(3) その他

なし

4 意見交換

〔委員〕

自分の考えはここまでの中でだいぶ話したので割愛する。学校評議員を 2 年務めた。任期を全うしたかな、と思っている。

〔委員〕

クリスマスのイルミネーションでは寒い中頑張ってもらった。商店街でも生徒の活動を支援したいと思っている。

〔委員〕

虹の学園との交流の状況は。

〔校長〕

花プロの活動で一つの班が交流し、虹の学園の文化祭のダンスの指導をした。今後も継続してほしいと考えている。

〔委員〕

他県から虹の学園の利用に向けて他県より転居してきた人もいと聞いている。交流を重ね、虹の学園に通う子供たちが、将来花泉高校を進学先として考えてくれることを期待している。

〔委員〕

来年度花泉中学校は県のキャリア教育の指定を受けることになっている。その中で 3 年生は花泉のことについて考え、町に提言するところまでもっていきたい。高校で取り組んでいる花プロの活動を踏まえて、高校生から中学生にアドバイスをしてもらえる機会を設けたい。交流については新規に取り組むことは負担増になる懸念もあるので、既存の活動の中でできることに取り組みたい。花プロの発表会を中学生、小学生も参観することはできないか。協力をお願いしたい。

〔委員〕

2 月 13 日に老松市民センターにおいて開催された高齢者を対象にした学習会で、高校生の代表者がデジタルマップについて紹介をした。老松地区のお宝マップをデジタル化するという花プロの活動で、参加者に大変講評で、自身のスマホで QR コードを読み取って実際にその場で見ている方もいた。また、夙作り教室では 5 人の高校生がサポーターとして参加してくれた。学校評価アンケートでも「入学してよかった」という項目で高い評価を得ていることから、学校の指導が行き届いていると感じる。今後も継続してほしい。

5 その他

(1) 令和 7 年度学校運営協議会委員の選出について

〔副校長〕

運営協議会委員の任期は定められていない。最大 15 名まで増やすことも可能なので、こういった立場の方がいるとよい、とのアイデアがあれば教えてほしい。地域住民の委員の方々には継続をお願いしたいが、諸事情で退任とのお考えであれば適任者の推薦をいただけるとありがたい。役職でお願いしているものについては異動の関係で現在の方と異なる方になる場合もあるので、その際はお知らせいただきたい

い。関係行政機関の市民センター所長について、次年度の担当はどこになるか。

〔委員〕

次年度は日形市民センター所長が担当となる。(昨年度：花泉市民センター)

6 閉会のことば